

基本目標1 それぞれの生き方を目指そう(基本施策1～3)

基本施策1 女性のための学習講座の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容
1	働く女性のためのスキルアップセミナー	地域経営課	継続	実施時期:11月1日(日)・11月15日(日)(2回連続講座) 対象:働く女性 目的:働く女性の学習機会を提供するとともに、学習を通じての仲間づくりや交流を促進する。 内容:子育てや家事と仕事の両立について、その他仕事のスキルアップにつながる内容の講座を開催する。 前年度からの改善点:職場や家庭で必要になるスキルで実践しやすく内容とすることで、2回連続の受講につなげる。 目標値:仕事と家庭の両立において参考になったと回答した人が7割以上 予算額:34千円
2	ひまわり専科	生涯学習課(嵐南公民館)	継続	実施時期:6月～12月 対象:成人女性 目的:家庭や社会を取りまく生活環境の変化に対応して、女性を中心に、これからの生き方や生活・健康など暮らしの知識を取得する学習を通し、趣味や教養を深めるとともに、仲間づくりといきいきとした社会生活に役立てることなどを目的に開催する。 内容:①コンボ共和国を知ろう②蒔絵体験③太極拳④アンガーマネジメント⑤パンづくり⑥ピラティス⑦レジンでアクセサリー⑧八丁紙で干支の飾り作りというテーマで8回開催する。 前年度からの改善点:昨年度と違うテーマや講師をお願いし、市民の需要に応えるべく、時事テーマや運動体験を積極的に取り入れて計画した。 目標値:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合80%以上 予算額:64千円
3	女性セミナー	生涯学習課(栄公民館)	継続	実施時期:1月～3月 対象:主に栄地区の成人女性 目的:「男だから」「女だから」という固定的役割分担意識を変えていく。 内容:「固定的役割分担意識」チェックシートを取り入れ、「男女共同参画」について考える機会にする。セミナー内容等は検討中。 前年度からの改善点:普段の生活の中での固定的役割分担意識など男女共同参画を自分事として捉えてもらう機会を作る。 目標値:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合80%以上 予算額:23千円
4	女性セミナー	生涯学習課(下田公民館)	継続	実施時期:6月～12月 対象:主に下田地区の女性 目的:女性が現代社会において知識の習得や教養の向上を目指し、様々な事を学習し、豊かで充実した生活を送れるよう開催する。 内容:①開講式・地震・台風・災害に備えて!自分で出来る我が家の耐震診断②運気の流れを知って未来を切り拓く③未病を防ぐ足裏健幸講座④省エネと食品ロスの関係～捨てるお金を減らしましょう～⑤植物染めでお洒落な小物作り⑥手作り塩麴で絶品料理⑦開講式・お正月を彩るフラワーデザイン ※新型コロナウイルス対策のため、料理実習の開催は講師と相談中。女性が様々な内容を学べるよう、全8回実施する。 前年度からの改善点:女性の体の悩みや防災・省エネなど生活に直結した内容を取り入れ、学ぶことにより充実した生活を送れるよう内容を工夫した。 目標値:男女共同参画について考える機会になったと回答した割合80%以上 予算額:44千円
5	男女共同参画講座	地域経営課	継続	実施時期:調整中 対象:一般市民 目的:「ひと(女)」と「ひと(男)」にかかわる様々な課題について、広く市民が気づき、考えるきっかけとなる機会を提供し、男女共同参画社会づくりにつなげていく。楽しみながら自然と男女共同参画の考え方に触れてもらうきっかけとすることを目指す。 内容:調整中 目標値:男女共同参画について関心や理解が深まったと回答した割合80%以上 予算額:220千円

基本施策2 男性のための男女共同参画に関する啓発

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容
6	男の料理教室	生涯学習課 (大崎公民館)	継続	<p>実施時期:1月～2月(3回)            対象:大崎・保内地区の成人男性            目的:料理の楽しさを体験することで、男性が料理に興味を持ち、家庭での家事参加につながるよう開催する。            内容:男性が料理を作る楽しさを感じ、家事に参加するきっかけとなるように料理教室を実施する。家庭で作れる料理(全3回)            会場:大崎公民館 料理実習室            定員:12人(新型コロナウイルスの状況により、減少する可能性あり)            前年度からの改善点:昨年度好評だった、洋食シリーズなどのテーマで構成した連続講座を行う。また、アンケートで要望のあった家庭でも作れる料理を学ぶ内容とすることで、受講生の参加を促す。            目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上            予算額:21千円</p>
7	男の料理教室～ 男性厨房へいらっ しゃい～	生涯学習課 (本成寺公民館)	継続	<p>実施時期:未定            対象:主に本成寺地区の男性            目的:日常生活で家事に積極的に参加することができるよう開催し、仲間づくりと、男女共同参画の啓発を図る。            内容:男性が料理を作る楽しさを知り、基本的な技術を習得する機会と参加者同士の交流の場として開催する。①魚のさばき方 ②かんたんイタリアン            前年度からの改善点:旬の食材を使い、男性でも簡単に料理ができるメニューを工夫して開催する。            目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上            予算額:5千円</p>
8	男性料理教室	生涯学習課 (大島公民館)	継続	<p>実施時期:未定            対象:主に大島・須頃地区の男性            目的:日常生活で、家事に積極的に参加することが出来るよう開催し、男性への男女共同参画の啓発を図る。            内容:男性が家事に積極的に参加するきっかけとなるように料理教室を開催する。参加者が家でも簡単に料理することができるように、献立を工夫して開催する。            前年度からの改善点:旬の食材を使い、食材の種類が多くならないようにメニューを工夫して開催する。            目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上            予算額:36千円</p>
9	男の料理教室	生涯学習課 (栄公民館)	継続	<p>実施時期:9月～12月            対象:栄地区の成人男性            目的:「男だから」「女だから」という固定的役割分担意識を変えていく。            内容:一汁一菜をテーマに、「自分で作れる」「誰かに作って喜ばれる」「また作りたくなる」料理を学ぶ。また、固定的役割分担意識チェックシートを取り入れ、料理を通じて「男女共同参画」について考えてもらう。            会場:農村環境改善センター            前年度からの改善点:男性が気軽にキッチンに立ち、手軽で作りやすいメニューを取り入れる。料理を入口に、固定的役割分担意識など男女共同参画を自分事として捉えてもらう機会を作る。            目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上            予算額:28千円</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容
10	プロから学ぶ男の料理教室	生涯学習課 (下田公民館)	継続	<p>実施時期:10月～12月  対象:主に下田地区の男性  目的:男性に多い、固定的性別役割分担意識を無くし、料理を楽しく感じられること、またその後の生活に活かしてもらえることを目的とする。  内容:男性が料理に興味をもち、その後の家事の参加のきっかけになるよう、また仲間作りに役立てるよう、男性向けの料理教室を開催する。和食の基本をプロの料理人に教えてもらう。  会場:下田保健センター  講師:越前屋ホテル 山崎 勝市さん  定員:10人  前年度からの改善点:まずは興味をもってもらうためにも昨年度のアンケートを参考に作りたいメニューを取り入れつつ、プロに基本をしっかり教わるような講座とする。  目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上  予算額:21千円</p>
11	認知症サポーター養成講座	高齢介護課	継続	<p>実施時期:年間  対象:市民  目的:男女問わず、誰もが認知症の人やその家族の気持ちを理解し、認知症の人を地域で支える必要性を啓発することで、男女が共に暮らしやすいまちづくりを目指す。  内容:認知症について、正しく理解し、認知症の人を誰もが温かく守る地域づくりを進めるため、地域における見守り役となる認知症サポーターの養成を行う。前年度に引き続き、小中学生を含む若い世代に加え、高齢者が訪れる機会が多い企業を対象とした講座が開催できるよう対象団体に周知し、講座の開催を呼び掛ける。  講師:キャラバン・メイト  前年度からの改善点:若い世代の認知症サポーターを養成するため、企業だけでなく、小中学校に対しても講座開催の周知を行う。また、講座に従事できるキャラバン・メイトを育成する。  目標値:認知症サポーター養成講座受講者数 600人  予算額:355千円</p>
12	育児講座	子育て支援課	継続	<p>実施時期:通年(予定)  対象:乳幼児の保護者  目的:子育て拠点施設に来館し、講座に参加してもらうことで、男性が女性とともに育児に関わるためのきっかけとする。  内容:子育て拠点施設(すまいるランド及びあそぼって)において、男性が参加しやすい講座を実施する。(月1回程度予定)  前年度からの改善点:平日の主な利用者は女性であることから、土、日、祝日などに男性が子どもと一緒に参加しやすい講座を開催する。また、参加募集時の表現に注意する。  目標値:男性参加率25%以上  予算額:30,912千円(指定管理委託料に含む)</p>
13	男女共同参画講座(再掲)	地域経営課	継続	No.5に同じ

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容
14	男女共同参画出前講座	地域経営課	継続	<p>実施時期: 通年  対象: 市内各種団体  目的: 男女共同参画意識の醸成を図る。  内容: 各種団体の勉強会などに講師を派遣し、男女共同参画の視点からの内容を話してもらう。  前年度からの改善点: テーマについて内容を再検討。新たにLGBTに関するテーマを追加するなど、幅広いテーマを用意し、参加につなげる。  目標値: 年間7回以上開催  予算額: 64千円</p>
15	農業従事者向け広報・啓発	農林課	継続	<p>実施時期: 通年  対象: 市内農業従事者向け説明会参加者及び農業関係協議会事業参加農業者  目的: 農業従事者は従前から家族労働を基準とした方が多く、男女共同参画についての関心が非常に薄いのが現状と思われる。そのため、農業従事者が集まる機会を有効的に活用し、男女共同参画の理念やワークライフバランスを周知いただき、家屋内での理解を深めてもらいながら実践していただく。  内容: 農業従事者が多数集まる機会を利用し、広報誌等の配布物を活用して家庭内で家族と検討してもらう。  前年度からの改善点: 資料配布後に行った意見交換会が年1回のみ開催された。今後は複数回実施出来るように計画していく。  目標値: 農業関係講演会を開催する時に、男女共同参画に関する資料を配布する。また、女性農業者から男女共同参画への関わり方に関する意見聴取を年2回以上設定する。</p>

### 基本施策3 方針・政策決定の場等への女性の参画促進

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容
16	審議会等への女性委員の登用率向上のための指導	行政課	継続	<p>実施時期: 通年  対象: 審議会等を運営する各課  目的: 定期的な各課への周知や原因分析をすることにより、積極的に女性委員を登用し、男女共同参画の啓発を図る。  内容: 「審議会等の設置、運営等に関する指針」に基づき、その適正な運用について継続的に指導、助言、周知を図る。  また、特に女性委員登用率が低い審議会等については、推薦を依頼する団体に、長に限らず女性を推薦してもらう協力要請を繰り返し働きかけていくとともに、公募枠の委員や有識者・学識経験者の選定について女性の登用を配慮する等、令和2年度登用目標率30%の達成に向けて取り組む。  前年度からの改善点: 引き続き、団体から推薦いただく委員については可能な限り女性の推薦を依頼するよう推薦依頼文に明記するとともに、公募枠、有識者・学識経験者枠の選定についても女性を積極的に登用するよう各課に働きかける。また、各課へ女性委員の登用率向上に向けた推薦状況に関するヒアリングを随時行う。  目標値: 女性登用率30%(令和2年度中)</p>
17	農業関係協議会等における女性の参画促進	農林課	継続	<p>実施時期: 通年  対象: 市内農業従事女性  目的: 農業従事者である女性の家族の意見を取り入れる体制を作りあげる。その意見を地域農業に反映させることにより、女性主体の農業の確立を目指す。  内容: 農業関係協議会への女性の参画促進を図る。「三条市農業担い手協議会」で行う講演会・総会等の出席案内において、役員以外の女性会員へは案内封書だけではなく、直接的な声掛けを行い女性の参画を促す。また、役員全員が男性のため、女性役員を配置する。複数名の女性役員を設置し、順番で会議に参加する等の柔軟な体制を取る。役員会議時間帯は平日夜に行っているため、女性が参加しやすい平日か休日の昼間に会議を行う回も設定していく。  前年度からの改善点: 意見交換会等を開催する時間がなかった。今後は会議の次第に取り入れて、複数回実施出来るように計画していく。  目標値: 「三条市農業担い手協議会」における女性役員を1名以上増やす。</p>